

会計様式第 1

支 出 伝 票

会派名	代表者	経理責任者	会計年度	整理番号									
日本共産党 犬山市議団	水野正光	岡村千里	R2	7-1									
支出項目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 2 研究研修費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 9 人 件 費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 10 事 務 所 費			令和2年10月5日									
支払金額	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>金額</td> <td>¥</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(手数料 440円)</p>				金額	¥	1	3	5	0	0	0	円
金額	¥	1	3	5	0	0	0	円					
使 途 内 容	市議団レポート (No.16) 印刷代												

《領収書添付欄》

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-10-05	21426	通帳送金
記号	番号	

取扱番号	お取引金額	
N078	*134,560	
	残高	
三菱UFJ銀行		
神楽坂支店		
普通		
カ)ファミリール		
送金料金	*440円	
振込予定日	02-10-05	
ごホソキョウサントウイヌヤマシキダツ		

ご利用いただきましてありがとうございました。
 ゆうちょ銀行

*領収書が発行されないことを確認済み。

御請求書

日本共産党犬山市議団
岡村千里様

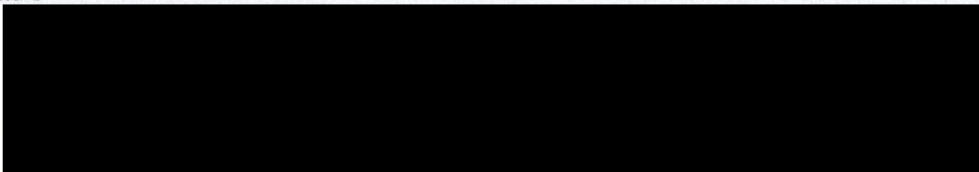
PAGE 1 / 1
日付 2021/02/02
注文番号 irodori_00001190997

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-29
株式会社プリマリアル
イロドリお客様サポートセンター
TEL 0120-964-974 FAX [REDACTED]



商品名	単価	数量	金額
市議団ニュースNO.16 / A3(B4)チラシ・フライヤー印刷 / 24,000 枚 【紙種】上質紙70kg【納期】6日【種別】両面フルカラー サイズ指定 (A3/B4) A3サイズ (297×420mmのみ)	¥123,440	1	¥123,440
MS Officeデータ ⇒ PDF変換作業(+最大1日)Officeデータ以外で印刷(料金・納期追加なし)	¥0	1	¥0
表裏関係 天天 合わせ	¥0	1	¥0
			¥123,440
	<値引き>		¥0
	<送料>		¥0
	<消費税 (10%) >		¥12,344
	<手数料>		¥0
	<ポイントご利用>		¥1,224
	合計 (税込)		¥134,560

備考



今年度4月からの実績



避難所に簡易ベッドを導入



熊本地震での関連死や新型コロナウイルスなどの複合災害に備え、以前から簡易ベッドや段ボールベッド、間仕切りの導入を提案してきましたが、9月13日南小学校で職員を対象とした「感染症対策」「ゾーニング」などの「避難所づくり」訓練で「簡易ベッド」や「間仕切り」の組み立て作業が行われました。

就学援助制度
生活保護基準
1.3倍 → 1.4倍に

学校給食の単価改定を機に憲法どおり「無償化を目指しながら当面、助成制度の充実」を求めてくる中で、就学援助の受給基準を生活保護基準の1.3倍から1.4倍に引き上げ、生活が苦しい世帯に広く受けられるように2020年度より実施。

公共施設の
トイレ洋式化推進

2019年度
市立図書館など5施設
8器完了
2020年度
羽黒学供など3施設
5器予定



おたふくかぜワクチンの
接種費用の一部助成



子ども未来園での
使用済み紙おむつの回収



困ったときは、共産党へご相談ください



(岡議員のFacebookより)
しんぶん赤旗に助けられる。
お店に働くある方から「コロナ禍で仕事が減っている。お店は雇用調整助成金を申請しているみたいだが、従業員には回ってこない。どうしたらいいの？」との相談を受け、手をこまねいていました。
そこにしんぶん赤旗日曜版9/6号(35面)の「休業支援金」の記事(写真)がパートやアルバイト、技能実習生なども申請できるなど詳しく掲載。しかも、会社が休業手当を払わない場合も直接申請できること、加えて事業主が労働保険に未加入の場合は、この間の小池党書記局長の厚労省への要請で可能となったことなども紹介されていました。
手をこまねいていた生活相談も一気に解決です。

市政へのご意見・ご要望
くらしの相談などお寄せください

▼ショートメール
またはLINEでお願いします。

岡 さとる 携帯：090-3932-0324

みずの正光 携帯：090-3484-3743

おかむら千里 携帯：090-4798-7197

日本共産党犬山市議団レポート

岡 さとる 67-1420 みずの正光62-1847 おかむら千里61-3232

NO.16 2020年10月・11月
発行 日本共産党犬山市議団
犬山市大字犬山字東畑36 犬山市役所内

「PCR検査の抜本的な拡充」「江南保健所の体制強化」 尾北の共産党議員団がコロナ対策拡充を求め奮闘!!

江南保健所管内の犬山市・江南市・岩倉市・大口町・扶桑町の共産党議員団は、感染症拡大のもとで住民の命と健康や暮らしを守る取り組みに力を尽くし、市・町の独自の支援策を求め情報収集や行政への「申し入れ」をし「休業協力金」「中小企業・小規模事業者支援」「避難所での感染防止対策」など要望が少なからず実現しました。

またこの間「尾北医師会との懇談」「江南保健所の聞き取り」「江南厚生病院との懇談」を重ねました。

そして、各自治体の首長に対し「PCR等検査の抜本的な拡充」「江南保健所への市・町からの支援」などのコロナ対策の拡充をそれぞれ申し入れました。

犬山市議団もこれまで市長に対し、3月4日には「損害を被った事業者への市独自の補償」を、全国的に感染が広がって学校の休校が続いた、4月20日は「学習支援」「給食などの生活支援」など12項目を、そして今般、9月17日には「PCR等検査の拡充を求める」緊急申し入れをしました。

日本共産党議員団は引き続き、検査体制を抜本的に強化し、新型コロナウイルスの感染を防止し、安心して生活できる「まち」にしていくために全力を挙げてまいります。



江南厚生病院との懇談の様子



日本共産党犬山市議団
コロナ危機で3度目の市長に申し入れ

第8回市民フリースピーチ

定員までは いつでも入園できる子ども未来園(保育園)に! 子育ての切実な要望を訴え

犬山市議会 フリースピーチ制度とは

犬山市議会では、市民が議会で発言することにより、市民の議会への関心を高め、身近で開かれた議会の実現に努めることを目的として、市民フリースピーチ(5分間発言)制度を実施しています。議員は市民からいただいた提案を全員協議会などの議論の中で熟慮し適切にアクションします。

フリースピーチは、犬山市内に在住、在勤または在学する方ならどなたでも参加できます。詳しくは犬山市ホームページをご覧ください。



9月6日、第8回市民フリースピーチが行われ、4名の方が発言されました。その中で滝口未来さんが「年度途中の待機児童について」と題し、年度途中で子ども未来園に入園できなかった自らの体験や、働く母親たちがどんな苦勞をして出産前から入園の準備をしているかを語られました。また定員に空きがあるのに入園できない理由についても言及。定員に応じて予算が組まれる「定員定額制」の導入を提案されました。

後日、全員協議会で、フリースピーチの発言にどう対応していくかが話し合われ、滝口さんの発言については「勉強会」を行なうことになりました。



9月定例議会の報告 9/1(火)~9/24(木)

9月議会は「決算議会」とも呼ばれ、前年度の予算執行の検証を行い、次年度の予算に生かす議論をしました。上程された議案はすべて可決されました。可決された主な議案は次の通りです。

◆犬山市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

犬山市西公民館の用途を廃止する

- 20年度：解体工事実施設計
- 21年度：建物解体撤去
- 21年3月31日：施設閉館
- 22年度：跡地売却

◆犬山市道路構造の技術的基準を定める条例の一部改正

犬山市道において、将来的に、自転車通行帯を設置する場合に備えて自転車通行空間を確保する規定を設ける

◆犬山市教育委員の任命

紀藤統一氏・高木浩行氏の任期満了（4年任期）に伴い、後任者に渡邊智治氏・木澤和子氏を任命するに当たり議会が同意した

◆犬山市固定資産税評価審査委員の選任

中村弥生氏の任期満了（3年任期）に伴い同氏の再任の選任を議会が同意した

◆補正予算に計上された主なもの

- ① コンビニ交付サービス導入事業
2,127万6千円
マイナンバーカードを利用して、コンビニで住民票の写し・印鑑登録証明書を取得できる
2021年2月から実証開始
- ② 高齢者生きがい活動促進事業
199万8千円（全額国費）
外国人高齢者を中心に農作物の栽培・加工・販売など農福連携による生活支援を行う
NPO法人シェイクハンズに委託
- ③ 就労マッチング事業
新型コロナウイルス感染症対策事業
53万4千円
市民の働き場の確保と市内事業者の雇用の創出を目的に就労に向けたマッチングの機会を創設する
- ④ 保育業務支援システムの導入
R3~5年度にかけて2,494万8千円
子ども未来園の業務軽減に向け、タブレット端末などのコンピューターシステムを導入する



【一般質問】

新型コロナ対策、PCR検査をもっと増やして！

質問：尾北地域にPCR検査センターを設置するよう県に申し入れをできないか

答弁（健康福祉部長）：今後のPCR検査の実施状況や感染状況を見て、必要な場合は県に申し入れていきたい。

質問：消防職員、保育士、学校の教員などは、市の責任で検査できないか。

答弁（健康福祉部長）：民間事業所との協議では、検査費用は一人当たり月額約15,000円。対象人数は983人で試算すると半年で9千万円の費用が必要。現時点では検査の実施は考えていない。



おかむら千里議員

木曾川の台風・豪雨災害の対策は？

質問：水位や洪水の危険性などの情報について、各機関との連携は？

答弁（市民部長兼防災監）：木曾川を管理する国との連携は、情報共有できる体制となっている。7月の豪雨での増水状況は、避難の目安となる水位は11.6m。最も水位が上昇した8日は11.42mに達した。水量調節については、これまでの管理を見直し、今年5月に「木曾川水系治水協定」が締結され、今回初めて事前放流が実施された。

質問：防災のための治水事業は、どのように行われているか

答弁（市民部長兼防災監）：木曾川水系河川整備計画に基づき、整備が進められている。昨年度、栗栖小学校西及びその上流の2箇所樹木伐採を実施、今年度も引き続き不老公園付近とその上流において実施される予定。

質問：防災ラジオの計画的な導入をできないか

答弁（市民部長兼防災監）：防災ラジオの導入については、防災行政無線機能を活用するため、基地局の設置や山間地域には電波が届きにくく、中継塔の建設が必要。費用面から導入は困難。

地域活性化につながる公平公正な入札を提案

質問：絶えず情報を発信し、公平公正・透明性を確保するために4点を確認しました

- ① 一般競争入札と指名競争入札の適正な運用
- ② 随時契約の適正な基準
- ③ 事後審査型条件付き一般競争入札と総合評価落札方式の導入
- ④ 最低制限価格制度の扱い

答弁（経営部長）：1000万円を超える予定価格のものは、原則一般競争入札で「実施要綱」「基準」に基づき公平公正な入札に努めている。総合評価方式は導入していない。随時契約はガイドラインを作成した。

質問：地域経済の好循環、活性化につながる「公契約条例」の導入を提案しました。※すでに愛知県と豊橋市・豊川市・碧南市・尾張旭市・大府市・田原市・豊明市・岡崎市・西尾市・東郷町が導入している

答弁（経営部長）：資金などの労働条件はすべての労働者に保障されるべきであり、国の法整備により解決すべき課題で、国政の動向を注視している。



みずの正光議員



簡易ベッド

福祉避難所の指定や整備の充実を

質問：福祉避難所の指定状況と運用の仕方を確認しました。

答弁（市民部長兼防災監）：高齢者・障がい者を想定した福祉避難所は、ひかり学園・ともいき福祉会のぬく森とぬく森第二・溢愛館の民間施設4カ所、乳幼児・妊産婦を想定して子ども未来園10園と羽黒児童センターを加えた11カ所を指定している。

通常の体育館等の避難所での生活が難しく、配慮を必要とする人たちのために、状況に応じ順次開設し運用する。

少人数学級のさらなる前進を！

質問：コロナ禍を体験して全国的に少人数学級の必要性が高まっている。少人数学級では先進的自治体である犬山市がこの分野でさらに前進させる（目標は20人学級）とともに国や県にも強く働きかけるべき。

答弁（教育部長）：犬山市は35人程度の学級では、先進自治体ですが、すべての小中学校で35人学級を実現するには、現在市独自に雇用している9人の教員に加えて7人（予算は5,544万円）が必要となる。これを実現するには、教員の確保と教室も必要になり、自治体の限られた財源では限界があり、よりよい教育環境整備に向けて国や県に対して要望していく。



岡さとし議員

減らしすぎた職員を増員し、勤務しやすい職場づくりを！

質問：コロナ危機の緊急事態にも市民の命と暮らしを守る市役所の職場体制や職員づくりは必要であり、増員計画はどうなっているか。

答弁（経営部長）：2019年に比べ23人の増員で、2023年には563人とする計画を立て採用を行ってきたが、今年度（4/1現在）は目標を9人下回っている。2021年度の職員採用を全体で15人増員し、2023年には563人とする予定。また、コロナ禍の中では、オーバーワークによる体調不良やメンタル不調の職員が出ないよう、職場環境の改善が一層重要になっている。

宇治市の事例に学び、鶺鴒の人工孵化と育成を！

質問：私は宇治市の話聞き「動物虐待につながる可能性がある」ということも重視し、犬山市もやってみるべきと思ったがどうか？

答弁（経済部長）：鶺鴒事業の持続可能性や動物愛護の観点からも大変興味深い。まずは宇治市を訪問（日程調整中）し、人工孵化の実施体制や方法を学び、研究していきたい。